

## 資料提供

提供年月日：令和2年(2020年)1月7日(火)

提供者：

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会

滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

※イベント主催者(2団体)と開催県での3者合同

お問い合わせ先：

イベントについて

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会事務局(社会福祉法人グロー内)

(担当：三木 TEL：0748-46-8100)

滋賀県での取組について

滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

(担当：藤田 TEL：077-528-3344)

### 東京2020大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル ーグランドオープニングーの開催について

日時：令和2年(2020年)2月7日(金)～2月9日(日)



令和2年(2020年)2月7日(金)から2月9日(日)まで、滋賀県大津市にて、「障害者の文化芸術フェスティバル」のグランドオープニングイベントを開催します。

本フェスティバルは、文化庁が進める「日本博」のプログラムの一つであり、「日本博」のテーマである「日本人と自然」を障害者の文化芸術を通して表現し、その魅力を国内外に発信することを目的に開催するものです。令和2年度から3年度にかけて全国各地を巡回し、北海道から九州までの複数の会場で開催を予定しています。

今回はその皮切りとして、上記の3日間、滋賀県でオープニングイベントを開催します。

プログラムの一つである「ワールドフォーラム」では、ジャン＝マルク・エロー氏(フランス元首相、ナント市名誉市長)をはじめとした、アール・ブリュットの推進に取り組む世界各国の著名人が集い、国際的なネットワークの構築に向けた議論を行います。また、近年国内外で高い評価を受けているアール・ブリュット作品の展示や障害者による舞台芸術の発表など、障害者等の芸術表現に触れられる多彩なプログラムを実施します。

また、同じ会場では、全国の福祉関係者等が一堂に会して福祉分野の課題等について意見交換を行う、全国規模の福祉フォーラムである「アメニティーフォーラム24」も開催されます。

滋賀県は、「日本の障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏ら多くの関係者によって、全国に先駆けて、障害者福祉や障害者による文化芸術活動の推進に取り組みされてきた地です。ぜひ、本フェスティバルや本県での取組を取材していただきますようお願いいたします。

#### 1 取材対象

##### (1) グランドオープニング会場の取材

グランドオープニングの会場にて、各プログラムを取材していただけます。

**イベント名称：**「東京 2020 大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルーグランドオープニングー」

(主催者) 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた  
障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会

**日時：**令和 2 年 2 月 7 日 (金) ～2 月 9 日 (日)

**場所：**びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール他 (滋賀県大津市におの浜 4-7-7)

**プログラム：**

- ① 「アール・ブリュット ワールドフォーラム」(日本語・英語 (同時通訳あり))
- ② 障害者の舞台芸術見本市 (日本語 (英語の説明資料あり))
- ③ 美術展「アール・ブリュットー日本人と自然ー展」(日本語・英語)
- ④ バリアフリー映画祭 (日本語のみ)
- ⑤ 体験プログラムー表現の源泉ー (日本語・英語)

※ 各プログラムの詳細は、「参考資料」をご覧ください。

※ ①、② 手話通訳および要約筆記を予定

③ 音声ガイドを導入予定 ④ 日本語字幕、音声ガイドあり

**ホームページ：**

<https://artbrut-creation-nippon.jp/>

## (2) 被招聘者による視察への同行取材

上記プログラムの一つ「⑤ 体験プログラムー表現の源泉ー」において、グランドオープニングの被招聘者 (登壇者) 等が参加する視察ツアーに同行取材していただけます。

**プログラム名称：**「体験プログラムー表現の源泉ー」

**日時：**令和 2 年 2 月 9 日 (日) 10:00～16:00

**場所：**甲賀市信楽町 (ツアーバスを用意しますので、取材機関も同乗できます。)

**言語：**日本語・英語

**ツアーの概要：**

滋賀県における障害者の造形活動の礎である信楽青年寮や信楽の街並みを視察した後、信楽青年寮の寮生と粘土造形を体験します。

**当日スケジュール：**

9:00	バス出発 (びわ湖大津プリンスホテル)
9:15	バス経由 (JR 大津駅前)
10:00～12:00	信楽青年寮を訪問 作品の鑑賞や制作されている作業場等の見学。
12:00～13:00	昼食 (場所未定)
13:00～14:00	信楽の町を散策
14:00～16:00	滋賀県立陶芸の森を訪問 信楽青年寮の作家等と一緒に、粘土での作品制作を体験。
17:00	バス到着 (JR 大津駅前)

## 2 取材にあたっての留意事項

### (1) 取材にあたっての費用等

参加費は無料です。(会場、集合場所までの交通費は取材機関でご負担ください。)

### (2) 集合場所

グランドオープニング会場の取材においては、当日会場の受付へお越してください。視察への同行取材においては、バスの出発時刻までに乗車場所(びわ湖大津プリンスホテルまたはJR大津駅前)にお集まりください。(乗車場所の詳細は別途ご案内いたします。)

### (3) 取材申込方法

以下の必要事項を記入の上、2月5日(水)までに、メールにてお申込みください。

- ① 参加者氏名 :
- ② 所属機関名 :
- ③ 機関種別(新聞、雑誌、テレビ等) :
- ④ e-mail アドレス :
- ⑤ 携帯電話番号(当日連絡用) :
- ⑥ 取材対象 : (1) グランドオープニング会場の取材、(2) 視察への同行取材
- ⑦ その他 : (2) 視察への同行取材の場合は、バスの乗車場所を記載してください。

#### [取材の申込先・お問い合わせ先]

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会事務局(社会福祉法人グロー)

担当: 企画事業部 三木

TEL: 0748-46-8100 e-mail: kikaku@glow.or.jp

住所: 521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

## 参考資料

### 東京 2020 大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル ーグランドオープニングー の各プログラムについて



#### 1 滋賀県での障害者の文化芸術活動に関する取組について

滋賀県では、戦後まもなく「日本の障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏や田村一二氏、池田太郎氏らにより、障害者福祉施設「近江学園」で粘土を利用した造形活動が始まります。近江学園で始まった造形活動は、糸賀氏が残した「この子らを世の光に」という障害者福祉の思想とともに県内の福祉施設に受け継がれ、多くの人々に関わる中で芸術の領域で評価される作品が数多く見出されてきました。

その後も滋賀県では、関係者の努力や協力のもと、「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」等のアール・ブリュット作品を展示する場づくりや、誰もが造形活動や表現活動を楽しむことができる環境づくりに、全国に先駆けて取り組まれてきました。



こうした中、芸術を通じた共生の発信拠点として世界から注目されるようになり、2008年にはNO-MAとスイスの美術館「アール・ブリュット・コレクション」との間で交流企画展が開催されるようになりました。2010年にパリで開催された「アール・ブリュット ジャポネ」展や2017年の「ジャパン×ナント プロジェクト」に代表される海外展示においても、滋賀県出身の作家の作品が出展され、世界的な評価を得るようになっていきます。

また、本フェスティバルに出演される「湖南ダンスカンパニー」らが取り組まれている、ダンスや和太鼓などの表現活動についても、県内各地で広がりを見せています。

行政としても、障害の有無にかかわらず、誰もが造形活動や表現活動を楽しむことのできる環境づくりに、全国に先駆けて取り組んできました。

障害者が安心と希望を持って造形活動に取り組めるよう、作者の権利保護等の中間支援を行う組織「アール・ブリュット インフォメーション&センター（略称：アイサ）」の設置に向けた支援や、2013年からは全国組織「アール・ブリュットネットワーク」を設立・運営し、アール・ブリュットを多様な主体が関わり合いながら支えていくための機運醸成に努めています。また、より多くの人々がアール・ブリュットの魅力に触れられるよう、県内各地の施設で作品展示を展開しています。

舞台芸術においては、「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業）」での舞台芸術鑑賞の機会の提供や、アーティストと障害者のコラボレーションによるボーダレスな舞台演奏が行われる糸賀一雄記念賞音楽祭の開催支援などを行ってき



ました。

また、滋賀県では現在、「(仮称) 滋賀県障害者文化芸術活動推進計画」の策定を進めています。障害の有無にかかわらず誰もがともに、文化芸術活動に親しみ、活躍できる環境を創造することを目標とし、今年3月の策定を目指しています。

このように、滋賀県では様々な主体が協力し合うことにより、県民が文化芸術活動を通じて自分らしく活躍できるように、そしてともに支え合い触れ合うことで共生社会が形成されるように、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指した「持続可能な開発目標 (SDGs)」の視点も踏まえながら取組を進めています。

## 2 各プログラムの詳細について

### (1) アール・ブリュット ワールドフォーラム (7日 13:00~18:10、8日 9:15~18:45)

アール・ブリュットの推進に取り組む世界各国の著名人が集い、国際的なネットワークの構築に向けた議論を行います。

#### (主な登壇者)

ジャン=マルク・エロー氏 (フランス元首相、ナント市名誉市長)

青柳 正規氏 (文化庁前長官、山梨県立美術館館長)

リン・クック氏 (ワシントン・ナショナル・ギャラリー現代美術部門シニアキュレーター)

マルティヌ・リュザルディ氏 (パリ市立アル・サン・ピエール美術館長) ほか

また、障害者の文化芸術活動を促進することを目的に結成された知事連盟や議員連盟による、フォーラムも開催します。

#### (主な出席者)

三日月大造氏 (滋賀県知事)、平井伸治氏 (鳥取県知事)、衛藤晟一氏 (一億総活躍担当大臣)、

高木美智代氏 (衆議院議員) ほか

ジャン=マルク・エロー氏



青柳 正規氏



リン・クック氏



### (2) 障害者の舞台芸術見本市 (8日 11:00~19:30、9日 13:30~15:45)

障害者等による、郷土芸能、音楽、演劇、ダンスといった多彩な分野の舞台芸術を公演します。

#### (主な公演者)

瑞宝太鼓 (長崎県)

知的障害者による和太鼓の演奏団。年 100 回以上の公演を行い国内外で好評を得る一方、少年院・刑務所や学校等での公演を通して社会貢献にも努めている。2017 年、文部科学大臣表彰を受賞。

サルサ・ガムテープ (神奈川県)

NHK 5 代目歌のお兄さん かしわ哲氏が知的障害者らと結成したロックバンド。フジロックフェスティバルへの出演や海外でのライブ等、精力的に活動を行っている。

湖南ダンスカンパニー (滋賀県)

知的障害者や福祉施設の職員らによるダンスグループ。パリで開催された障害者の文化芸術国際交流事業「2018 ジャポン×フランスプロジェクト」において公演し、好評を博す。

瑞宝太鼓



サルサ・ガムテープ



湖南ダンスカンパニー



(3) 美術展「アール・ブリュットー日本人と自然一展」(7・8 日 9:00~19:00、9 日 9:00~14:00)

約 300 点にもおよぶ障害者等の芸術作品を展示します。作品には、日本人が古くから持つ、四季折々の天然の色彩や昔の風情を慈しむ心が強く表れています。

展示作品



木村 茜



木村 佑介

会場の様子 ※過去開催時



(4) バリアフリー映画祭 (7日 13:00~24:30 頃、8日 10:00~24:30 頃、9日 10:00~12:00 頃)

バリアフリー音声ガイド、字幕を備えた全8作品を上映するとともに、それら作品の監督や俳優を招いたトークイベントを行います。

(主な上映作品)

日日是好日 (大森立嗣監督)

轢き逃げ -最高の最悪な日- (水谷豊監督)

閉鎖病棟 -それぞれの朝- (平山秀幸監督) ほか

聴覚障害者用のメガネ型端末



(5) 体験プログラム-表現の源泉-

信楽は世界的に有名な陶芸の町であるとともに、障害者による窯業を通じた造形活動の礎となった場所でもあります。児童福祉施設「近江学園」の設立に尽力した池田太郎氏によって、1955年に信楽に設立された知的障害者入所施設「信楽青年寮」。この施設では、大変独創的で他に類を見ない造形作品が数多く生まれてきました。また、信楽では古くから、寮生が地元の製陶所に通い窯業を行っており、障害者が当たり前働きに出るといふ、当時としては先駆的な風土をもつ町でした。

ツアーでは、信楽青年寮で創作されている魅力ある作品やその背景を知っていただくとともに、信楽という地域やその風土を感じてもらいます。

(当日スケジュール)

9:00	バス出発 (びわ湖大津プリンスホテル)
9:15	バス経由 (JR大津駅前)
10:00~12:00	信楽青年寮を訪問 作品の鑑賞や制作されている作業場等の見学。
12:00~13:00	昼食 (場所未定)
13:00~14:00	信楽の町を散策
14:00~16:00	滋賀県立陶芸の森を訪問 信楽青年寮の作家等と一緒に、粘土での作品制作を体験。
17:00	バス到着 (JR大津駅前)

信楽青年寮



信楽の登り窯



滋賀県立陶芸の森

